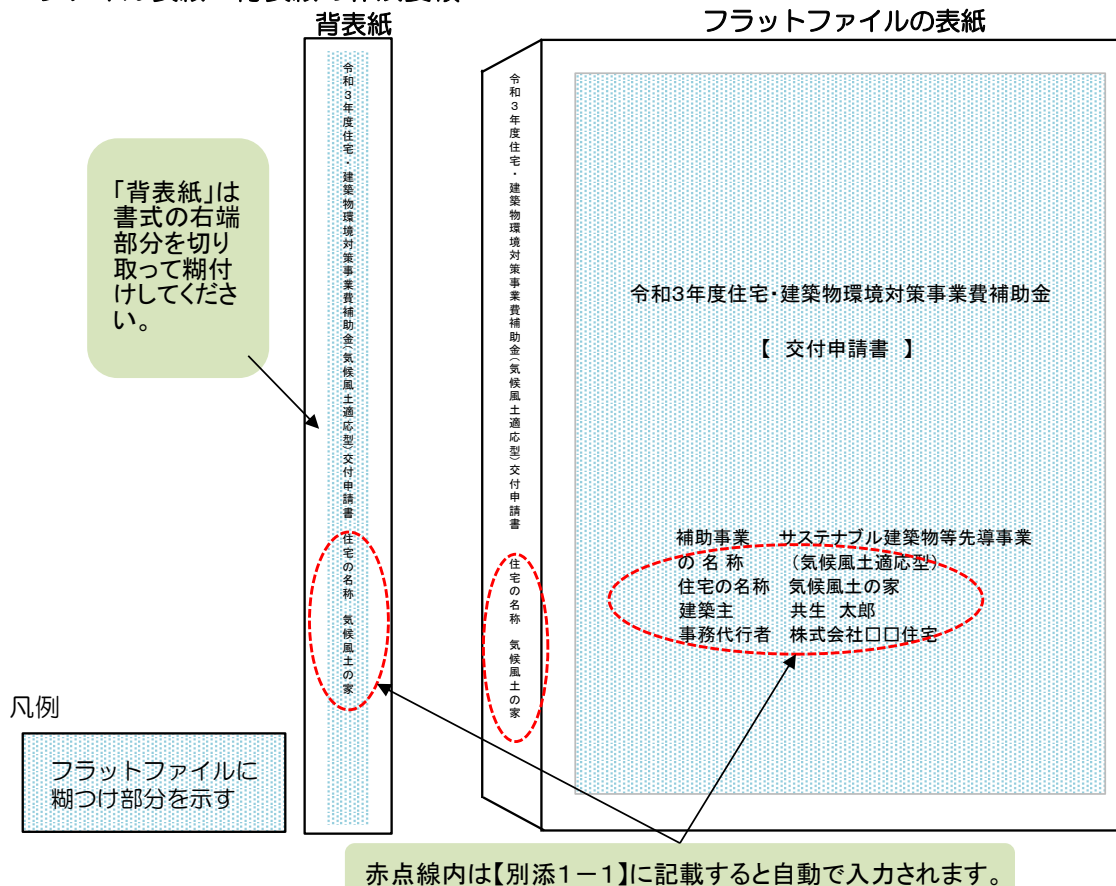


## R3年度住宅・建築物環境対策事業費補助金交付申請書 補助金交付申請書の作成要領及びチェックリスト

- 1 補助金交付申請書は事務代行者にて作成してください。
- 2 記入例を参照の上、2部作成し**1部を提出**してください。  
残りの1部は申請者の控えとして保管してください。  
(審査の質疑等がある場合、控えがあることを前提としてやり取りを行います。)  
**注1) 正1部の様式の内、押印書面は必ず「原本」を添付してください。**  
注2) ・提出: 1部 (正 : 1部 )  
・控え: 1部 (正のコピー : 1部)
- 3 書類の大きさは原則としてA4とします。  
設計図書の場合、最大でもA3サイズとし、この場合はA4サイズに折ってください。  
尚、A3の図面をA4に縮小するのは避けてください。
- 4 申請書は、「A4紙製2穴フラットファイル」に綴じて提出してください。  
フラットファイルの表紙及び背表紙に住宅の名称等を必ず記載して下さい。  
(「**■ファイル表紙・背表紙の作成要領**」を参照)
- 5 添付する図面や資料には、**事業の要件**(気候風土への対応、環境負荷低減対策等)やエネルギー消費削減量の算定根拠となる部分(数値、算定式、性能、型番など)に**マーカーを入れるなど、わかりやすい表示**としてください。
- 6 要求されていない書類は提出しないでください。

### ■ファイル表紙・背表紙の作成要領



## R3年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型） 補助金交付申請書のチェックリスト

### ■提出書類一覧表

提出する書類にチェック"☑"を入力 又は 手書きでお願いします。

提出書類		記入例	様式/縮尺等	チェック欄
①	補助金交付申請書	例-交1	別記様式第1/原本	<input type="checkbox"/>
②	交付申請額の算出方法及び内訳	例-交2 例-交3	別紙1	<input type="checkbox"/>
③	本体工事の見積書 の写し ※1	/	任意様式	<input type="checkbox"/>
④	掛かり増し費用の見積書 の写し	/	任意様式	<input type="checkbox"/>
⑤	「採択通知書」の写し (一式)	/	/	<input type="checkbox"/>
⑥	建築士による省エネルギー性能の状況、住宅性能表示制度に係る状況、提案内容への適合確認書	例-交4	別添1	<input type="checkbox"/>
	「4. 住宅性能表示制度に係る状況」 (該当する場合) 「設計住宅性能評価書」の写し	例-交5		<input type="checkbox"/>
	「5. 提案内容への適合状況」 ※2	/		/
	(1) 地域の気候風土への適合状況	例-交6		<input type="checkbox"/>
	(2) 環境負荷低減対策の適合状況	例-交7		<input type="checkbox"/>
⑦	振込口座登録票	例-交8	別添2	<input type="checkbox"/>
⑧	申請の制限に係る事案の有無等の確認書	例-交9	別添3/原本	<input type="checkbox"/>
⑨	補助事業に関する宣誓書	例-交10	別添4/原本	<input type="checkbox"/>
⑩	委任状 (単年度事業に該当する場合)	例-交11	参考様式/原本	<input type="checkbox"/>
⑪	協議会が確認に必要と判断するもの	/	/	/

※1 見積書等（補助対象項目と金額の明細が確認できるもの）が確認できるものを提出してください。

※2 「5.提案への適合状況」

(1) 地域の気候風土への適合状況、(2) 環境荷低減対策の適合状況については、設計図書に採用した提案（要素）No.や内容等を明記してください。

書類作成日を記載してください

令和 3年 4月 1日

例一交1

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会  
会長 竹中 宣雄 様

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

(申請者)  
建築主の氏名又は名称

共生 太郎

### 令和3年度住宅・建築物環境対策事業費補助金交付申請書

令和3年度住宅・建築物環境対策事業に要する費用について、補助金の交付を受けたいので、  
別添1-1を記載すると、自動で入力されます。 (気候風土適応型) 補助金交付規程第6の規定によ  
り、当該手続きにあたっては、令和3年度サ  
ステナブル建築物等先導事業(気候風土適応型)補助金交付規程を遵守します。

別紙1「交付申請額の算出方法及び内訳」  
を記載すると自動で入力されます。  
単位は(千円)、消費税抜きです。

- 1. 補助事業の名称      サステナブル建築物等先導事業 (気候風土適応型)  
住宅の名称      気候風土の家
- 2. 交付申請額      950      千円 (端数切捨て)
- 3. 交付申請額の算出方法及び内訳      (別紙1のとおり)
- 4. 補助事業の概要      (採択通知書の別添1、2のとおり)
- 5. 事業完了の期日      (事業完了予定期日)      令和 4年 2月 1日

(添付資料)

- 1. 交付申請書      支払い完了予定日を記載してください。      (別紙1)
- 2. 本体工事見積書      ※実績報告提出期限内であること。      (任意様式)
- 3. 掛かり地台帳           (任意様式)
- 4. 採択通知書           (別添1)
- 5. 建築士による省エネルギー性能の状況、住宅性能表示制度に係る状況、  
提案内容への適合確認書      (別添2)
- 6. 振込口座登録票      (別添3)
- 7. 申請の制限に係る事案の有無等の確認書      (別添4)
- 8. 補助事業に関する宣誓書      (参考様式)
- 9. 委任状 (該当する場合)      (参考様式)
- 10. 分譲住宅に係る誓約書 (該当する場合)      (参考様式)
- 11. 協議会が確認に必要と判断するもの

(記載上の注意)

- 1. 用紙の大きさは、日本工業規格で定めるA列4とし、縦位置とすること。  
(設計図書等はA3折り込みで可)
- 2. 「住宅の名称」には、採択通知書に記載してある「住宅の名称」を記載すること。

## 交付申請額の算出方法及び内訳

例-交2

※交付申請額は(A)、(B) **※交付申請額が採択金額の上限と同額の場合** (単位：千円)

補助対象項目	事業費 (D)	補助対象外事業費 (E) = (D) - (F)	補助対象事業費 (F)	補助率	交付申請額 (G) = (F) × 補助率
環境負荷の 低減項目	( ) 35,000	( ) 33,000	( ) 2,000	1/2	( ) 1,000
(前回交付決定額)					
(変動増減)					

(D)(E)(F)(G)については、  
下表を作成すると自動で入力されます。

(E)のうち、他の補助金が含まれている場合は以下に記入のこと

事業名： **浄化槽補助金**

所轄名： ○○県

注1 交付申請額は掛かり増し費用相当額の1/2以内の額とする。

ただし、補助対象となる部分の建設工事費全体の10%以内を超過する場合は、

採択金額を上限額とする。

注2 (F)には、他の補助金を含

注3 変更承認申請の場合には、

本申請以外の補助金を記載してください。

補助対象事業費には他の補助金を含めることはできません。

(税抜、単位：円)

(D) 事業費	※事業費の積算内訳が記載されている見積書等を添付すること	(D)	35,000,000
---------	------------------------------	-----	------------

掛かり増し費用 相当額の内訳	環境負荷の低減項目		差額金額
	1	土塗壁	1,900,000
2	木製建具	500,000	
3			
4	「環境負荷の低減項目」について記載をしてください。		
5			
	掛かり増し費用相当額の合計金額		2,400,000
掛かり増し費用 相当額による 補助金額算定	掛かり増し費用相当額の1/2		(A) 1,200,000
	掛かり増し費用相当額の合計金額の内、 補助対象事業費とする金額		(F) 2,000,000

注4 掛かり増し費用の見積書を添付すること。「採択通知書の別添2」に基づき掛かり増し費用相当額に応じて該当する項目で算出していただきます。

補助対象とならな い項目の内訳	補助対象とならない項目		金額
	1	外構工事	2,120,000
2	屋外給排水	1,350,000	
3	地盤改良	481,600	
4	設計費、建築確認申請費、申請手続き費等	2,500,000	
5			
	小計		6,451,600
建設工事費による 補助金額算定	補助対象となる部分の建設工事費の全体		28,548,400
	補助対象となる部分の建設工事費の1/10		(B) 2,854,840

(C) 採択金額 (補助金額)	※採択通知書に記載された採択金額を記載すること	(C)	1,000,000
--------------------	-------------------------	-----	-----------

補助金交付申請額 の算定	(A)、(B)又は(C)の少ない金額	採択金額 (補助金額)	1,000,000
-----------------	--------------------	-------------	-----------

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

住宅の名称：

気候風土の家

交付申請額の算出方法及び内訳

例-交3

※交付申請額は(A)、(B)又は(C)の **※交付申請額が採択金額を下回るの** (単位：千円)

補助対象項目	事業費 (D)	補助対象外事業費 (E) = (D) - (F)	補助対象事業費 (F)	補助率	交付申請額 (G) = (F) × 補助率
環境負荷の低減項目	( ) 35,000	( ) 33,100	( ) 1,900	1/2	( ) 950
(前回交付決定額)					
(変動増減)					

(D)(E)(F)(G)については、  
下表を作成すると自動で入力されます。

(E)のうち、他の補助金が含まれている場合は以下に記入のこと

事業名：**浄化槽補助金** 所轄名： **〇〇県**

- 注1 交付申請額は掛かり増し費用相当額の1/2以内の額とする。  
ただし、補助対象となる掛かり増し費用相当額が採択金額を上限額とする。 **本申請以外の補助金を記載してください。**
- 注2 (F)には、他の補助金を含めず、**補助対象事業費には他の補助金を含めることはできません。**
- 注3 変更承認申請の場合には、変更前の記載内容を上級メニューで記載すること。

(D) 事業費	※事業費の積算内訳が記載されている見積書等を添付すること	(D)	35,000,000
---------	------------------------------	-----	------------

掛かり増し費用相当額の内訳	環境負荷の低減項目		差額金額
	1	<b>土塗壁</b>	1,900,000
	2		
	3		
	4		
	5		
掛かり増し費用相当額の合計金額			1,900,000
掛かり増し費用相当額による補助金額算定	掛かり増し費用相当額の1/2		(A) 950,000
	掛かり増し費用相当額の合計金額の内、補助対象事業費とする金額		(F) 1,900,000

注4 掛かり増し費用の見積書を添付すること。「採択通知書の別添2」に基づき掛かり増し費用相当額に応じて該当する項目で算出していただきます。

補助対象とならない項目の内訳	補助対象とならない項目		金額
	1	<b>外構工事</b>	2,120,000
	2	<b>屋外給排水</b>	1,350,000
	3	<b>地盤改良</b>	481,600
	4	<b>設計費、建築確認申請費、申請手続き費等</b>	2,500,000
	5		
小計			6,451,600
建設工事費による補助金額算定	補助対象となる部分の建設工事費の全体		28,548,400
	補助対象となる部分の建設工事費の1/10		(B) 2,854,840

(C) 採択金額 (補助金額)	※採択通知書に記載された採択金額を記載すること	(C)	1,000,000
-----------------	-------------------------	-----	-----------

補助金交付申請額の算定	(A)、(B)又は(C)の少ない金額	掛かり増し費用相当額による補助金額算定	950,000
-------------	--------------------	---------------------	---------

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

住宅の名称： **気候風土の家**

例一交4

建築士による省エネルギー性能の状況、住宅性能表示制度に係る状況、提案内容への適合確認書

当該申請に係る住宅の設計内容の省エネルギー性能の状況、住宅性能表示制度に係る状況、及び当該申請に係る住宅の設計内容とサステナブルな提案の交付申請の内容が採択された内容に適合していることを確認した建築士の氏名を記載し、建築士の個人印を押印してください。

建築士による書類作成日を記載してください。

令和 3 年 4 月 1 日

二級 建築士 ○○県知事 登録 第 12356 号  
建築士の氏名 工務店 太郎



※建築士は本内容について責任を持つものとする。不正があった場合は、建築士法にもとづき処分を行う場合申請する住宅の「建設地」を都道府県名から記載してください。

1. 住宅の基本事項

住宅の名称	気候風土の家	採択通知書に記載されている「住宅の名称」を記載してください。
建設地	○○○県○○○市大字○○1111番地1号	
住宅部分の床面積・階数	一次エネルギーの床面積の合計 130.33 m <sup>2</sup> ・ 地上 2階 地下 0階	
他の補助金申請	有 補助金名称 浄化槽補助金 国費外	

(記載上の注意)

- 1.
- 2.

”有”、”無”を選択してください。

本申請以外の補助金申請があれば記載をしてください。

”国費”、”国費外”を選択してください。

2.

建築主 (申請者)	氏名又は名称 共生 太郎 住所 東京都新宿区神楽坂	
事務代行者の連絡先 (申請代理人)	会社名称 株式会社 □□住宅 担当者氏名 △△ ▽▽ 住所 ○○○県○○○市○○○ 電話番号 111-222-3333	申請代理人として事務代行を行う場合、「委任状」の提出が必要です。申請を代行する者について記載をしてください。
申請する住宅の設計者	設計者資格 木造 建築士 ○○県知事 登録 第 12356 号 設計者氏名 工務店 太郎 事務所登録 ○○県 知事登録 第 30456 号 建築士事務所名 二級建築士事務所 株式会社 □□住宅 所在地 ○○○県○○○市XXXXXX-XXXX 電話番号 111-222-3333	

(記載上の注意)

- 1. 住所、所在地は、都道府県から記入すること。
- 2. 複数の設計者が関与している場合、代表となる設計者を記入すること。

3. 住宅の設計内容の省エ

提案申請書の「一次エネルギー消費量計算結果(気候風土適応住宅版)」を記載してください。

(1) 算定結果

住宅の地域区分	6 [地域]		交付(採択)時の 数値基準
外皮平均熱貫流率(UA) [W/(m <sup>2</sup> ・K)]			1.07
冷房期の平均日射熱取得率(ηA)			2.1
一次エネルギー消費量 気候風土適応住宅版 ※建築物エネルギー性能基準 (行政庁認定住宅用)	判定	設計一次エネルギー消費 量[GJ/(戸・年)]	59.7
	BEI	BEI	1.23

”プルダウン”より選択してください。

(2) 計算書 ※ 完了実績報告書時に提出してください

(注) 「BELS等の評価書」の写しを提出すること。

BELS等の評価を受けた時の「一次エネルギー消費量計算結果」及び「外皮計算書」を提出すること。

4. 住宅性能表示制度に係る状況 (該当する場合)

(1) 算定結果

区分	提案時の 数値基準	交付申請時の 結果
耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	等級2以上	
劣化対策等級(構造躯体等)	等級3以上	
維持管理対策等級(専用配管)	等級3以上	

(2) 計算書

(注) 「設計住宅性能評価書」を提出すること。

提案時より住宅性能表示制度に  
該当する場合 ”プルダウン” より  
選択してください。

別添1-1を記載すると、自動入力されます。

住宅の名称: 気候風土の家

5. 提案内容への適合状況

独自に提案した場合、内容を具体的に記載してください。

(1) 地域の気候風土への適合状況

提案No.	観点	区分	要素	提案内容	適合性の評価
イー1	様式・形態・空間	内部_内部空間	※縁側	—	適
イー2	構工法	構造部分_軸組・耐震要素	※土塗壁	—	適
イー3	材料・生産・体制	地域材の使用	地域産の木材の使用	〇〇の山を見学 製材所で加工	適

採択通知書別添1の採択Noを記載してください。

"プルダウン"より選択してください。

採択通知書別添1に記載している提案No全てを記載してください。

(注) 1. 「提案No.」、「観点」、「区分」、「要素」欄には、採択通知書別添1に記載してある内容を記入すること  
 2. 「適合性の評価」欄には、「適」「不適」どちらか該: 別添1-1を記載すると、自動で入力されます。





"プルダウン"より選択してください。

## 振込口座登録票

銀行コード番号の間違いがよくございますので、  
銀行でよく確認の上、記載してください。

建築主（申請者）の銀行名等及び口座名義等

銀行名	●●●●				銀行			
銀行コード	0	1	2	3				
支店名	■ ■ ■ ■				支店			
支店コード 又は記号	0	0	0	8	9	4		
預金種別	普通				(普通・当座の該当する 種別を選択してください)			
口座番号		3	5	6	8	2	2	4
口座名義	共生 太郎							
口座名義の フリガナ	キョウセイ タロウ							
電話番号	000-564-7895							

右詰めで記載をお願いいたします。

注1) 必ず振り仮名を記入してください

"プルダウン"より選択してください。

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

住宅の名称： 気候風土の家

建築主の氏名又は名称： 共生 太郎



## 令和3年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）

## 補助事業に関する宣誓書

例-交10

申請する補助事業において、申請者が次の（１）～（３）の関係にある会社等からの調達（他の会社等を経由した場合、いわゆる下請会社の場合も含む。）の有無について、該当する項目にチェックを入れてください。

（１）～（３）の関係にある会社等から調達する場合には、３者以上の見積り結果を添付してください。調達費用の妥当性を確認します。

また、本宣誓書に虚偽を記載し、記載内容が事実と相違していることが発覚した場合は、交付された補助金の全額返還を求めることがあります。

- （１） 100%同一の資本に属するグループ企業
- （２） 申請者の関係会社（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第8項で定めるもの。（１）を除く。）
- （３） 申請者の役員である者（親族を含む）又はこれらの者が役員に就任している法人

該当項目にチェック"☑"をしてください。

（１）～（３）の関係にある会社等からの調達は一切ない。	<input checked="" type="checkbox"/>
（１）～（３）の関係にある会社等からの調達がある。	<input type="checkbox"/>

本書類について確認した日を記載してください。

本宣誓書の内容について誤りはなく、事実と相違していることが発覚した場合は、補助金の全額返還となる場合があることについて、確認しました。

採択通知書に記載されている建築主名又は名称等は、別添1-1に記載すると、自動入力されます。

令和〇〇年〇月〇日

共生 太郎

# 委任状

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

申請代理人（事務代行者）

会社名称 株式会社 □□住宅

代表者氏名 代表取締役 ○○ ○○

住所 〒 000-0000

○○○県○○○市XXXXXXXX-XXXX

担当者氏名 △△ ▽▽

電話番号 111-222-3333

E m a i l kyosei@xxx.or.jp

私は上記の者を代理人と定め、令和3年度サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）の補助金交付申請等の事務手続きに関する一切の権限を委任する。

別添1-1を記載すると、自動で入力されます。

住宅の名称 気候風土の家

本書類について内容を確認した日を記載してください。

令和 ○○年 ○○月 ○○日

委任者  
(建築主)

申請を委任する者(建築主)の押印をし原本の写しを提出してください。

住所 東京都新宿区神楽坂2-××-××

氏名 共生 太郎



電話番号 000-564-7895

申請を委任する者(建築主)の「氏名又は名称及び住所」等は、別添1-1を記載すると、自動入力されます。

別添2を記載すると、自動で入力されます。